

支援センター名	魚津市子ども元気活動支援センター
所在地	〒937-0064 富山県魚津市北鬼江313-2
連絡先	Tel 0765-23-1045 Fax 0765-23-1052

事業の概要とポイント

市内の各地区での特色を十分に生かした活動を推進するためには、ボランティアとそれを必要とする者とのコーディネート体制を充実させることが肝要と考え、コーディネート能力のある者を市内の各地区に配置できるよう育成した。

関係した学校・団体等の名称

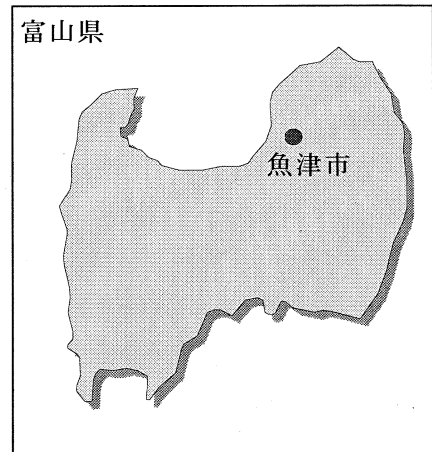
魚津市ボランティアセンター、うおづ囲炉裏の会

地域の現況・特色

活動対象地域の人口 魚津市 46,747人
(平成15年3月31日現在)

魚津市は富山県の東部に位置し、北西には、ほたるいか・蜃気楼・埋没林で知られる富山湾が広がり、南東部には壮大な北アルプスが連なる自然が豊かな地域である。古くから行政・経済・文化・教育などの諸機能が集積され、県東部における中核ととして発展してきた。

「人と自然と文化が共生する元気都市“魚津”」を将来都市像とし、明日を築く活力あるまち、安心して健やかにくらするまち、人・文化を育むまち、自然と共生する魅力あるまち、を施策の柱に、「市民と行政と一緒に考え行動するまちづくり」を進めている。



企画から活動までの経緯

- 4月18日 魚津市ボランティアセンターと講座内容について打ち合わせた。
当支援センターのコーディネーターはボランティアセンターの職員と兼務なので、ボランティアコーディネーターの講座にふさわしい講師の選定を依頼した。
- 5月22日 講師等が決まり、ボランティアコーディネーター養成講座実施要項を作成した。
- 6月1日 市の広報と市のホームページに掲載し参加者募集を行った。

- 6月 6日 ラジオで講座の参加者募集を行った。
- 6月11日 第1回講座をありそドーム研修室にて実施した。
- 6月21日 第2回講座をありそドーム研修室にて実施した。
- 6月30日 第3回講座の実践活動のポスターとチラシの原稿を各グループから提出してもらい印刷した。
- 7月 2日 市小学校校長会にて実践活動の参加者募集の依頼。全小学校の児童にチラシを配布した。
- 7月15日 受講者の各グループの代表と支援センターコーディネーターと第3回目の講座である実践活動のため最終事前打合せ。化学教室の参加希望者が予定の5倍以上であったため、やむなく抽選にて参加者を決定した。
- 7月29日 第3回講座の実践活動を新川学びの森天神山交流館にて実施。ダンスと化学実験とネイチャーゲームの3つの活動を行った。
- 8月27日 第4回講座をありそドーム主催者室にて実施

事例の展開内容（特色など）

市内の公民館指導員と、市民活動に関心のある人を対象に本講座を開講した。前年度のこの講座においてボランティアコーディネーターの役割とは何かということ、講演やボランティア活動を自ら体験したりすることで学んだ。今回はさらにステップアップが必要と考え、子どもの活動を実際に企画・実施することで自らコーディネーターの役割を体験してもらった。

第1回目の講座では「今、子どもが輝く地域活動とは」をテーマとした講演を行い、受講者を3つのグループに分けて、互いに意思疎通をうまく図れるようにグループワークを行った。このグループワークはNASAの宇宙飛行士が月面で不時着をし、基地に戻るまでに必要なものの優先順位をつけるというもので、その理由をディスカッションした。その後、各グループで役割分担と実践活動のテーマと目的を話し合った。宿題として各自で実践活動の企画書を作成することとした。

第2回目の講座では、「地域の特性を生かした活動を作ろう」をテーマとした講義の受講後、各グループで各自が持ち寄った企画書をもとに、実践活動について参加者の募集方法や当日のスケジュールなどの計画を話し合い、発表した。活動の実施までの間に各グループで自主的に集まり、チラシやポスターの作製、講師や協力者との連絡調整を行った。

第3回目は実践活動。「みんなで踊ろうファンクダンス」「おもしろ化学体験 火も電気も使わないクッキング」「いっしょにあそぼう！（ネイチャーゲーム）」の3活動を受講生がスタッフとなって実施した。参加者は保護者も含めて78名で大盛況のうちに終了した。活動終了後、反省会を行った。

第4回目は「事例から学ぶ連携の作り方」について講義を受けた。講師は実践活動を除いては同じ方だったので、今までの活動を振り返りコメントしていただけたのが良かった。そして今後のコーディネーターのあり方について学び、最後に閉講式を行い20名がこの講座を修了した。

企画・活動する上でのポイント、留意点など

当市では、地域の子どもの活動に地区公民館が大きな役割を果たしている。そこで、地区の公民館指導員が公民館活動の計画や事業実施の中心になっていることが多いことから、受講してもらったことにした。また、指導員だけでは活動が広がっていかないことから一般からも募集した。ボランティアコーディネーターという役割がまだ一般的に浸透していないため、その役割を理解してもらったところからはじめた。

評価

今回の講座は、受講生が活動を企画し実践する中でコーディネートを経験するのが目的だったが、実践活動の実施が目的にすりかわってしまった感がある。そんな中で受講生達は多忙な中真剣に取り組み、スキルアップすることができたと思う。また、公民館指導員と一般参加者の間で協力体制ができたのが良かった。

また、化学教室では田中耕一さんのノーベル化学賞受賞後の余韻からか、それともチラシやポスターの作製においてインパクトがある表現があったためか予想外の参加申込みがあった。やはり、各種事業を行うときはタイムリーで受け手の関心を引く広告の効果が絶大であると感じた。

今後は市内の各地区に偏りが無いように人材を育成していくことと、いかに人材を活用していくかを考えていきたい。



グループワーク



みんなで踊ろうファンダンス



おもしろ化学体験

火も電気も使わないクッキング



いっしょにあそぼう！ネイチャーゲーム

